

令和元～4年度

箱根町教育方針

本教育方針は、教育基本法（平成18年法律第120号）第17条第2項の規定に基づく「教育振興基本計画」に位置付けるものである。

令和4年2月（一部改定）

箱根町教育委員会

I 箱根町の教育に関する大綱

〔 箱根町教育基本方針 〕

- 1) 3小学校・1中学校は、児童・生徒数が減少しても、統廃合せず現状維持を図る。
- 2) 園・小・中学校の教育については、一貫教育を継続して行う。
- 3) 箱根町の園児・児童・生徒像は、『先人からの文化・伝統・歴史を受け継ぎ、未来に大きな理想と明るい希望を持って、健康で豊かな生活を目指し、箱根の郷土を愛し、貢献できる人』を培う教育を行う。

《具現化を図るための合言葉》

『箱根を愛し かしこく やさしく たくましく』

- 4) 箱根で培う箱根の人の実現を目指すために『箱根教育』を積極的に推進する。

＝ 箱根で培う人物像の実現を目指すために、教育振興計画における第3期の基盤整備として、『コミュニケーション能力向上』を柱とした基盤整備を行う。＝

II 『箱根教育（箱根で培う箱根の人）』の基本概要

＝ 箱根教育の合言葉 ＝

『 箱根を愛し かしこく やさしく たくましく 』

＝ 重点項目 ＝

合言葉	園	小・中学校
箱根を愛し (箱育)	○地域教育の推進	
かしこく (知育)	○基礎・基本の定着	
	○読み聞かせの推進	○思考力・表現力の育成 ○読書活動の推進 ○英語教育の充実
やさしく (徳育)	○自他を大切にする豊かな心の育成	
たくましく (体育)	○体力向上の推進	

＝ プロジェクト ＝

- | | |
|--------------------|---------------|
| ① 園・小・中一貫教育推進運営委員会 | ⑤ ICT活用プロジェクト |
| ② 観光学習推進プロジェクト | ⑥ 給食献立研究委員会 |
| ③ 学習内容定着プロジェクト | ⑦ 学校図書教育推進委員会 |
| ④ 箱根英語教育推進プロジェクト | ⑧ 園・小連携推進委員会 |

Ⅲ 箱根教育の具体的重点方針（第3期教育基盤整備 ー別紙「教育振興計画」参照ー）

第3期（令和元～4年度）重点方針のテーマ

＝ コミュニケーション能力向上を図る ＝

〔 ① 少子化 〕

- i 少子化に対応した学校組織体制研究（小学校教科担任制）
 - ・教育課程コーディネーターを配置
 - ・小学校教科担任制検証委員会における効果検証
 - ・少子化に対応した教育課程編成研究（プログラミング教育等）
- ii 一貫教育組織再編
 - ・園⇄小・小⇄小・小⇄中の積極的な教員交流
- iii コミュニティ・スクール設置
 - ・地域と学校との円滑な連携

〔 ② 基礎学力の定着 〕

- i 英語が香る学校づくり <英語の日常化>
 - ・校内英語放送
 - ・英語の日
 - ・英語教諭学校間交流
 - ・デジタル教科書検討
 - ・地域教育への英語導入
- ii 「思考力」・「表現力」を育成する学習
 - ・【力点教科】音楽・図工・国語[書く領域]
 - ・考え・議論する授業の研究
 - ・箱根教育 学力向上に向けたアプローチの実践

〔 ③ 地域を知る 〕

- ・地域学習の再編「私たちの町活性化アクションプロジェクト（小1～中3）体系化」研究

〔 ④ 読書に関する意識 〕

- ・一貫教育図書体制整備（児童・生徒の姿が見える図書体制）

〔 ⑤ 自己肯定感の意識・コミュニケーション能力 〕

- ・自己肯定感100%の学級経営（道徳の日常化、「ほめる」・「認める」声掛けの実践）

〔 ⑥ 支援を要する児童生徒数 〕

- ・教育相談センター相談体制の拡充（相談員・カウンセラーの拡充、相談センター施設整備）
- ・通級指導教室「スマイル」開設（各小学校）

1 第3期（令和元～4年度） 箱根町園・小・中学校 共有・個性化目標

合言葉	重点項目	共有		個性化	
箱根を愛し（箱育）	○地域教育の推進	(園) ・地域の人や自然・文化に進んで関わるができる子	湯幼	●地域の人や行事・文化に積極的に触れる子	
			宮保	●自分や友達の住んでいる地域を知り、興味関心を持つ子	
			仙幼	●好奇心をもって周囲の人や物に関わっていく子	
			箱幼	●地域の行事や文化に積極的にふれることができる子	
	(学校) ・箱根を知り、語れる子	湯小	●地域の良さに気づき、発信しようとする子		
		森小	●箱根のよさに気づき、それを積極的に発信しようとする子		
		仙小	●地域の良さが分かり、身の周りの人に工夫して発信することができる子		
		箱中	●箱根町の良さが分かり、箱根のことを語ることができる生徒 ●箱根町をよりよくするために、自分が何をすべきかを考え行動できる生徒		
かしこく（知育）	○読み聞かせの推進	(園) ・「読み聞かせ」が好きな子	湯幼	●絵本の世界を楽しみ、創造力を膨らまして楽しめる子	
			宮保	●読み聞かせを楽しみ、絵本が好きな子ども	
			仙幼	●絵本に親しみを持ってもっといろいろな絵本を見たいと思う子	
			箱幼	●読み聞かせの日を楽しみにできる子	
	○基礎・基本の定着	(園) ・返事・あいさつがしっかりとできる子	湯幼	●朝、笑顔で元気に挨拶して登園する子	
			宮保	●笑顔で元気にあいさつする子	
			仙幼	●笑顔で元気よくあいさつのできる子	
			箱幼	●朝、元気にあいさつして登園できる子	
	○思考力・表現力の育成	(学校) ・学習の基礎・基本が身に付いた子	湯小	●学習の基本が身につけている子	
			森小	●読むこと・書くこと・計算することなどの基礎的なスキルを身に付けた子	
			仙小	●主体的・計画的に朝学習・家庭学習に取り組むことができる子	
			箱中	●既習漢字を使い文章を書くことができる生徒 ●分からないことやできないことを、自分の学習につなげることができる生徒	

合言葉	重点項目	共有	個性化	
かしこく（知育）	○基礎・基本の定着 ○思考力・表現力の育成	(学校) ・自分で考え、表現できる子	湯小	●自分の考えを楽しんで書いたり話したりする子
			森小	●自分の考えを書いたり話したりすることを楽しむ子
			仙小	●自分の考えをノートに書いて整理し、友達と伝え合うことができる子
			箱中	●自分の考えを書いて整理し、他者と伝え合うことができる生徒 ●相手を尊重しつつ、さわやかな自己主張ができる生徒
	○読書活動の推進	(学校) ・主体的・能動的に読書する子	湯小	●時間を見つけて読書を楽しむ子
			森小	●隙間時間に積極的に読書しようとする子 ●家庭でもすすんで読書しようとする子
			仙小	●読みたい本を考えて選び、読書を楽しむことができる子
			箱中	●本に興味を持ち、時間を見つけて読書を楽しむ生徒
	○英語教育の充実	(学校) ・英語に興味・関心を持てる子	湯小	●楽しんで英語のあいさつをする子
			森小	●臆せず、恥ずかしがらず積極的に英語でコミュニケーションをとろうとする子
			仙小	●授業で学んだ英語をつかって、積極的に表現しようとする子
			箱中	●積極的に英検にチャレンジする生徒 ●おもてなし英語を使って外国人と話ができる生徒
やさしく（徳育）	(園) ・相手を許したり、ほめたりすることができる子	湯幼	●心優しく思いやりがあり、友達を大切にしている子	
		宮保	●友だちのことを大切にして生活している子	
		仙幼	●友達と一緒に様々な体験を重ね感情の交流ができる子	
		箱幼	●友だちのことも考えて生活できる子	
	(園) ・自分らしさを発揮して生活できる子	湯幼	●園が大好きで喜んで登園してくる子	
		宮保	●園が大好きで喜んで登園している子	
		仙幼	●友達の思っていることを認めて受けとめられる子	
		箱幼	●園が大好きで、喜んで登園してくる子	

合言葉	重点項目	共有	個性化	
やさしく(徳育)	○ 自他を大切に 豊かな心の育成	(学校) ・相手の気持ちを 考えて行動する子	湯小	● 友達と力を合わせて活動できる子
			森小	● いつでも・どこでも・誰にでも笑顔であいさつができる子 ● ありがとう・ごめんねが言える子
			仙小	● 友達や下級生の良いところに気付き、みんなの場でほめることができる子
			箱中	● 地域の人、友達等に明るくあいさつができる生徒 ● 困っている人やトラブルを見逃さず、解決に向けて行動できる生徒
たくましく(体育)	○ 体力向上の推進	(園・学校) ・体を動かすことが好きな子	湯幼	● 縄跳びに進んで挑戦する子
			宮保	● 毎日戸外に出て運動遊びをする子
			仙幼	● いろいろな遊びの中で身体を十分動かし楽しんで取り組む子
			箱幼	● 外遊びの時に、園庭を元気に走れる子
			湯小	● 楽しんで運動に取り組む子
			森小	● 長縄大会・短縄ギネスに挑戦・元気アップ体力アップ週間に積極的に取り組む子
			仙小	● 体力つくりの目標を決め、粘り強く頑張ることができる子
箱中	● 自己目標の達成に向けてチャレンジする生徒			

2 園・小・中学校の特色づくり・「ありがとう」のある園・学校づくり

特色づくり	湯幼	● 四季折々の花や実のなる木が溢れる園づくり
	宮保	● 子どもの作品であふれる園づくり(みやぎの子ども美術館)
	仙幼	● 一人一人を大切に見守り心豊かで意欲を育てる園づくり
	箱幼	● 一人一人にきめ細かな保育が展開できる園づくり
	湯小	● 美術あふれる学校
	森小	● 歌声響く学校
	仙小	● 異学年交流を生かした学校づくり
	箱中	● 国際観光地箱根を生かした学校づくり
ありがとう	4園	● 「ありがとう」と言う声が響く園づくり
	湯小	● 「ありがとう」を伝え合う学校(気づき清掃 他)
	森小	● 気づき清掃に真剣に取り組む子
	仙小	● 進んで働く姿が見られる学校づくり
	箱中	● 感謝の気持ちを気づき清掃で実践する生徒がいる学校

【生涯学習課】

1 生涯学習目標

『箱根を知り、箱根を語れる人づくりと輪づくり』

2 箱根教育の具現化

(1) 地域ぐるみ健全育成活動の推進… (箱) (知) (徳)

- ・家庭教育支援として、家庭教育講座の継続実施、定着化を図ります。
- ・青少年健全育成のための地域活動を支援します。
- ・放課後の子どもの居場所づくりのための『放課後子ども教室』を湯本小学校で実施します。

(2) 文化・自然遺産の保護と活用… (箱)

- ・箱根旧街道杉並木保存管理計画策定をはじめ、文化財の保護活動を推進します。
- ・文化遺産啓発のため、冊子の刊行や文化財探訪会を実施します。
- ・文化遺産保護意識の醸成を図り、文化財ボランティアの育成を図ります。

(3) 健康推進・体力向上に資する生涯スポーツの振興… (体)

- ・地域スポーツ活動の推進を図ります。
- ・老若男女誰でもが親しめるニュースポーツの普及に努めます。

(4) 生涯学習施設の機能と運営の充実… (箱) (知) (体)

生涯学習施設は、生涯学習活動支援の中でも、学習の場の提供を行う拠点となる重要な役割を持っています。拠点5施設は、それぞれ次のような「コンセプト」を持ち、各施設の運営を展開していきます。

施設名	コンセプト
箱根町社会教育センター等	人と文化の集積処
箱根町立郷土資料館	今と昔を伝える箱根の情報館
石仏群と歴史館	俳句と歴史の里への誘い処
箱根関所・関所資料館	江戸時代の体感処
箱根町総合体育館	健康と体づくりの発信地

*箱根町総合体育館については、生涯スポーツの拠点施設として、指定管理者により管理運営しますが、施設のコンセプトに基づいて運営するよう指導・監督していきます。

生涯学習施設 施策シート

施設名	社会教育センター	テーマ	人と文化の集積処	
令和2年度年間利用者目標 (当初)	37,000人			
平成30年度(実績)	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(目標)
27,442人	28,984人	16,937人	17,000人	17,000人

No.	施策	実績(令和2年度)	課題
1	HAKONE大学を継続実施します。	20名の募集に対し20名受講	テーマ及び講座内容の充実
課題の原因	予算なしでの講師の選定、学芸員との調整		解決策
		学芸員と内容を協議していくとともに、謝金を使用し、民間講師により新しい角度から講座を開催する。	

年度別実施内容	年度	施策内容
	令和2年度	「箱根ジオパーク」をテーマに開催。20名の定員に対し、30名の応募あり。
	令和3年度	「箱根の歴史」の中から「箱根の開発に係わる人々」をテーマに開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言を受け、年内中止にした。3月までに2講座の特別講座を行う予定。
	令和4年度	「ジオパークエリア内の文化・史跡について学ぶ」をテーマに開催予定。

No.	施策	実績(令和2年度)	課題
2	図書サービスの向上を図ります。	貸出冊数/人口=1.62冊	社会教育センター図書室及び移動図書館ともに貸出冊数が減少した。
課題の原因	利用者の高齢化や若年人口の減少等で来館頻度、貸出冊数が減少傾向であることに加えて、新型コロナウイルス感染症感染拡大による休館・巡回休止が影響した。		解決策
		感染症対策を講じながら、ブックスタート等の機会を活用して、保護者への図書館サービスの利用の呼びかけ、本の紹介コーナーの継続等、図書室からの情報発信を強化する。また利用者の要望に合った選書を行う。	

年度別実施内容	年度	施策内容
	令和2年度	プレイルームに書架を新設し環境整備を図った。学校との連携強化による移動図書館の利用促進、統計・ベストセラー情報等を参考に魅力ある蔵書構成に努めた。貸出冊数/人口1.62冊であった。
	令和3年度	引き続き学校・園との連携を強化し移動図書館の利用促進と蔵書の充実を図る。貸出冊数/人口を1.97冊を目指す。
	令和4年度	引き続き学校・園との連携を強化し移動図書館の利用促進と蔵書の充実を図る。貸出冊数/人口の目標値1.97冊を目指す。

No.	施策	実績(令和2年度)	課題
3	プチ体験講座をはじめ、各種講座を開催します。	プチ体験講座1講座を実施(受講者延べ14名)	新型コロナウイルス感染症対策を講じて、内容等を精査して実施が必要である。
課題の原因	感染状況を踏まえ開催の是非を検討していたため延期となっていた。		解決策
		講座の内容、場所、時間、人数等を考慮し、3密にならないように感染予防に配慮して実施できるようにする。	

年度別実施内容	年度	施策内容
	令和2年度	感染予防対策に配慮してプチ体験講座1講座を行い、延べ受講者14名であった。
	令和3年度	感染予防対策に配慮して有償1講座を行い、延べ受講者12名であった。
	令和4年度	感染予防対策に配慮して有償5講座、プチ講座2講座を行い、延べ受講者50名を目指し、サークル化を促進する。

生涯学習施設 施策シート

施設名	箱根町立郷土資料館	テーマ	今と昔を伝える箱根の情報館	
令和2年度年間利用者目標 (当初)	9,000人			
平成30年度(実績)	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(目標)
8,137人	6,993人	3,193人	4,120人	6,000人

No.	施策	実績(令和2年度)	課題
1	企画展開催やホームページ等を活用し、郷土資料情報を発信します。	<ul style="list-style-type: none"> 企画展開催(2回)期間中2,203人 資料館資料集の刊行(ワコインシリーズ) 館内wi-fi整備による情報発信システム構築 	館蔵資料データ化を進め、情報提供をさらに進める。
課題の原因	所蔵資料の利用を促進するための館蔵資料のデータ化及び情報発信システムの構築の必要性	解決策	館蔵資料データ化を進めるとともに、情報発信のためのシステム構築や公開手段、閲覧方法などを検討する。

年度別実施内容	年度	施策内容
	令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 企画展開催(2回)(夏冬の企画展開催中実績2,203人) 資料のデジタルデータ化 30件 情報発信システムの構築(クラウドサービスを利用したシステムの導入)
	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 企画展(年2回)開催:期間中入館者目標値3,900人(企画展開催期間中実績2,087人) 資料のデジタルデータ化及び情報発信の充実:目標値100件 館内展示解説アプリの供用
	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 企画展(年2回)開催:期間中入館者目標値2,100人 資料のデジタルデータ化及び情報発信の充実:目標値100件

No.	施策	実績(令和2年度)	課題
2	郷土資料館ボランティアを育成します。	6人(登録数)	ボランティアの増加と活動内容の充実を図る。
課題の原因	参加者ボランティアの固定化がみられる。資料整理や展示補助にとどまらず、更なる学習活動を目指す。	解決策	学習意欲を高め、満足感の得られる活動内容を検討する。

年度別実施内容	年度	施策内容
	令和2年度	郷土資料館ボランティアの登録者の増を目的に情報発信に努めたが、コロナ感染防止の観点から活動を控えた。並行して満足度のある活動内容を検討した。
	令和3年度	郷土資料館ボランティアの登録者の増を目的に情報発信に努めたが、コロナ感染防止の観点から活動を控えた。並行して満足度のある活動内容を検討した。
	令和4年度	郷土資料館ボランティアの登録者増を目指すとともに、年間活動延べ人数を100人とする。

No.	施策	実績(令和2年度)	課題
3	箱根の歴史授業講師派遣等学習支援・サマースクール支援等、学校教育との連携強化を図ります。	5回	学校と学習活動内容について検討する。
課題の原因	学校と行政(学校教育・生涯学習)との連携を密に図る。	解決策	例年実施している授業等を継続しつつ、館蔵資料を学習教材として活用し、歴史文化に触れる機会を設ける。

年度別実施内容	年度	施策内容
	令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、また通常の授業時間を確保するため、実施を限定した。(白百合中学校、白百合小学校、久野小学校のみ実施)
	令和3年度	高学年を対象とした「わらじ体験と旧街道歩き」並びに「歴史解説」出張授業の支援により、学校教育と連携を図り、加えて地域教育における学習支援する講座を開催した。
	令和4年度	高学年を対象とした「わらじ体験と旧街道歩き」並びに「歴史解説」出張授業の支援により、学校教育と連携を図り、加えて地域教育における学習支援やサマースクールを支援する講座を開催する。

生涯学習施設 施策シート

施設名	石仏群と歴史館	テーマ	俳句と歴史の里への誘い処	
令和2年度年間利用者目標 (当初)	11,000人			
平成30年度(実績)	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(目標)
9,322人	8,086人	5,480人	6,673人	10,000人

No.	施策	実績(令和2年度)	課題
1	地域協働活動を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 史跡周辺の草刈等維持管理 ・ 歴史館施設修繕を実施 	地域との協働による取組み

課題の原因	観光資源として史跡の利用を推進するとともに、地域の活性化を図るため、地域住民との協働による活動が不可欠である。	解決策	石仏群・東光庵等に関する更なる情報発信を図るとともに、地域住民との協働活動を進め、地域の重要な観光資源として取組みを推進する。
-------	---------------------------------------------------------	-----	-----------------------------------------------------------------

年度別実施内容	年度	施策内容
	令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史館施設補強工事、六道地蔵覆屋根改修工事を実施した。 ・ 歴史館施設の老朽化状況を踏まえ、今後の施設の在り方、方向性を検討した。
	令和3年度	文化財の情報発信を図るとともに、老朽化状況を踏まえ、引き続き歴史館施設の今後の在り方について方向性を検討する。
	令和4年度	文化財の情報発信を図るとともに、地域住民との協働活動(東光庵芦刈まつり等の支援)を進める。歴史館施設の今後の在り方について、町の方針を決定し、地域住民との協議を進める。四阿を解体し、石仏群周辺の環境整備を行う。

No.	施策	実績(令和2年度)	課題
2	地域的特色をテーマとした講座イベントを開催します。	実施なし	史跡や文化施設を活かした新たなイベントの企画

課題の原因	史跡や施設を活かした地域住民と協働による学習活動の実施が必要となる。	解決策	探訪会開催など史跡や文化施設の活用した新たなイベント企画を創出
-------	------------------------------------	-----	---------------------------------

年度別実施内容	年度	施策内容
	令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動実施なし。
	令和3年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動実施なし。
	令和4年度	地域住民との協働で、探訪会や施設等を活用したイベントを開催し、地域の観光資源として誘客を図る。

生涯学習施設 施策シート

施設名	箱根関所・関所資料館	テーマ	江戸時代の体感処	
令和2年度年間利用者目標 (当初)	389,000人			
平成30年度(実績)	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(目標)
340,923人	280,017人	116,900人	135,000人	273,900人

No.	施策	実績(令和2年度)	課題
1	完全復元施設の維持修繕を継続的に実施します。	復元施設現況調(令和元年度)結果に基づく再整備計画の方向性を検討した。	<ul style="list-style-type: none"> 予算確保(国県補助金を含む。) 復元施設の長寿命化 ※当初整備時のコンセプト(完全復元)を変更して、現代工法や材料を採用した再整備を検討する必要がある。
課題の原因		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に伴う町財政への影響 長寿命化を考えた施設整備事例の収集 	解決策 <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら誘客対策を強化する。 専門家の派遣や類似施設の視察を実施する。

年度別実施内容	年度	施策内容
	令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定に先駆け、神奈川県と協議を行った。 応急修繕の必要箇所について調査を行った。
	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 応急修繕箇所の工事を実施した。 復元施設再整備に係る調査研究及び文化庁との協議を行った。(建物詳細調査の実施、基本計画策定並びに再整備スケジュールの検討、協議)
	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 建物詳細調査及び基本計画(再整備検討委員会発足を含む。)の策定を行う。 復元施設屋根応急修繕工事を実施する。

No.	施策	実績(令和2年度)	課題
2	ガイドブックやパンフレット、SNSを駆使し、箱根関所、および周辺施設情報の発信に努めるとともに、周辺施設との協働による「箱根芦ノ湖”夢”劇場」の定着を図り、地域活性化の拠点施設としての活動を展開します。	「箱根芦ノ湖”夢”劇場」の参画団体(施設等)を10団体とした。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うイベントの実施
課題の原因		新型コロナウイルス感染症	解決策 <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策の強化徹底と、既存イベントの実施方法の再検討

年度別実施内容	年度	施策内容
	令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 「箱根芦ノ湖”夢”劇場」の参画団体を8施設・2団体とした。 既存イベントの内容を再検討した。
	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 「箱根芦ノ湖”夢”劇場」連絡会を開催する。 次年度に向けたイベントの再検討を行う。
	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 「箱根芦ノ湖”夢”劇場」におけるイベント開催、誘客宣伝の強化を図る。

No.	施策	実績（令和2年度）	課題
3	学校利用プログラムの活用を促進し、教育施設として修学旅行や校外学習などで来訪される学校に対し、現地体験を通じた歴史教育の充実に寄与します。	利用学校数 43校 (前年度より57校の減)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うプログラムの休止
	課題の原因	新型コロナウイルス感染症	解決策
			休止としている獄屋体験や御関所授業の実施内容・方法の再検討、新たなプログラムの立案

年度別実施内容	年度	施策内容
	令和2年度	利用学校数 43校
	令和3年度	・利用学校数 60校 ※見込数（4月から12月までの実績数 48校） ・プログラムの再編成
	令和4年度	利用学校数 120校

箱根町の教育振興計画（基盤整備）

第1・2期の取組を踏まえた課題

- 少子化における学校組織・教育課程編成
- 「思考力」・「表現力」
- 教育相談
- 支援を要する児童生徒数

第3期【R1～】『コミュニケーション能力向上』を柱とした基盤整備

- ①【R1～】義務教育学校形態研究 / 少子化に対応した学校組織体制研究(小学校教科担任制) / 一貫教育組織再編 / コミュニティ・スクール設置
- ②【R1～】英語が香る学校づくり(校内英語放送 / 英語の日 / 英語教諭学校間交流 / デジタル教科書検討 / 星槎学園連携 / 地域教育への英語導入)「思考力」・「表現力」を育成する学習(【力点教科】音楽・図工・国語[書<領域]) / 考え・議論する授業の研究 / 箱根教育 学力向上に向けたアプローチ実践)
- ③ 地域学習の再編「私たちの町活性化アクションプロジェクト(小1～中3)体系化」研究
- ④【R2～】一貫教育図書体制整備(児童・生徒の姿が見える図書体制)
- ⑤【R1～】自己肯定感100%の学級経営(道徳の日常化、「ほめる」・「認める」声掛けの実践)
- ⑥【R1～】教育相談センター相談体制の拡充(相談員・カウンセラーの拡充、相談センター施設整備) / 通級指導教室「スマイル」開設(各小学校)

第1期の取組を踏まえた課題

- 町の教育方針と学校教育目標との乖離
- 園・小と小・中との連携
- 支援を要する児童生徒数

第2期【H25～30】『園小中一貫教育』を柱とした基盤整備

- ①【H27～】園・小・中一貫教育(分離型) / 小・中学校教諭兼務
- ②【H25～】チャレンジ / 中3アフタースクール開設、【H28～】小4～中3学力調査、【H29～】ICT活用授業 / 箱根土曜塾開設、【H30～】中3全員英検3級受験
- ③【H29～】観光・ジオパーク学習(ICTの活用)
- ④【H25～】玄関文庫(湯本小) / 学校読書月間 / 園・学校間図書シェア
- ⑤【H27～】学校生活アンケート(学期1回)、【H28～】園・小・中箱根ハートフルプログラム / ほめる・認める教育
- ⑥【H26～】スクールソーシャルワーカー配置、【H30～】園の教育相談体制整備

スタート時における課題

- 6つの課題

第1期【H19～24】『箱根教育』を柱とした基盤整備

- ①【H20】5小3中の統合⇒3小1中 / 幼・保スタートプログラム
- ②【H19～】箱根教育(箱根ミニマム / 地域・観光教育)、【H20～】小1～中3ALT授業
- ④【H21～】箱根教育(子ども図書銀行)
- ⑤【H20～】箱根教育(学校版「おもてなしの心」)
- ⑥【H23～】関係機関との連携(ネットワーク会議)

教育の課題

① 少子化

② 基礎学力の定着

③ 地域を知る

④ 読書に関する意識

⑤ 自己肯定感の意識
コミュニケーション能力

⑥ 支援を要する児童生徒数